

2015.03.05：平成27年\_県土整備常任委員会（第1号） 本文

○委員長（小池正昭君）

それでは、これより質疑を行います。質疑はありませんか。  
宇野委員。

○宇野 裕委員 大きく2つお伺いをしたいと思います。

まず、圏央道についてであります。圏央道の整備については、自民党、その他の会派の皆さんと一緒に整備促進について毎年頑張っているところでございますが、先ほど部長から県土づくりの基本方針の中の4つの方針の中の1つであります交流基盤の強化の中に位置づけられているのかなというふうに思いますが、その中で、神崎―大栄間は平成27年5月までに開通できる見通しであるということでありました。あと残るは大栄―横芝間の18.5キロメートルとなったわけでありまして。昨年度から国により用地取得に着手されていることではあります。大栄―横芝間の早期整備のためには、速やかに用地を確保していくことが一番大事ではないかなというふうに思っております。そういう中で、平成27年度の県の当初予算案に圏央道大栄―横芝間の用地取得の強化ということが挙げられております。

そこでお伺いをしたいと思います。圏央道大栄―横芝間の用地取得の強化として、県は何をこれから行っていかようとしているのかお伺いをしたいと思います。

○委員長（小池正昭君） 吉田道路計画課長。

○説明者（吉田道路計画課長） 県はこれまで、国から用地の先行取得を受託している千葉県土地開発公社に対し債務保証を行うとともに、沿線市町と組織する用地取得促進プロジェクトチームを活用して、国に代替地の情報提供や用地取得に付随する事務手続の調整などを行ってきているところです。国が昨年7月から沿線各地域で順次開催している用地補償説明会に参加し、地権者の意向や動向などの把握に努めるとともに、地権者を対象とした用地補償に関する相談窓口を新たに開設します。県としても、一日も早い圏央道の全線開通に向けて用地取得が円滑に進むよう、国に積極的に協力してまいります。

○委員長（小池正昭君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。県と国と地元の市町村が協力して、連携をとっ

てやっていくというお話を聞いて非常に心強く思いました。公共事業は、まず用地取得が一番大事だというふうに思っております。そのことが必要不可欠だというふうに思っております。要望であります。引き続き用地取得に対して、県もこれまで以上に積極的に協力して、圏央道の早期全線開通に向けて取り組んでいただきたいと思います。これは要望を申し上げます。

それから、先ほどの4つの方針の中のもう1つであります「災害に強いまちづくりの推進」というくくりの中で、津波対策についてお伺いをしたいと思います。私の地元も津波の被害を受けたということで、この委員会で何度かお尋ねをさせていただいたことなんです。昨年の12月の議会でも取り上げさせていただきました。再度、確認の意味で質問させていただきます。

もうすぐあの震災から4年が過ぎようとしておるわけでありまして。私の地元の匝瑳市でも、今申しあげましたように津波により海岸や河川の後背地が浸水をして、大きな被害をこうむったところでもあります。県では、早急に堤防のかさ上げに着手をしていただき、この場をおかりして感謝を申し上げたいと思います。この中で、新川という川があるんですが、堤防のかさ上げ工事が今行われております。ただ、合流部の対策工事について、いまだ工事着手となっていないようです。合流部対策についても、一日も早く工事を発注して完成していただきたいと思っております。

そこでお伺いをしたいと思います。この新川の津波対策の進捗状況はどのようになっているのか、お伺いをしたいと思います。

○委員長（小池正昭君） 木村河川整備課長。

○説明者（木村河川整備課長） 新川の津波対策は、河口部から新浜大橋までの約1.2キロメートル、左右岸合わせて約2.4キロメートルの堤防のかさ上げ工事を実施、計画してございます。これまでに380メートルが完了いたしまして、さらに今年度末までに1,320メートルにつきまして工事着手する予定でございます。新川に流入する軽桶川、野田幹線排水路につきましては、それぞれ合流部で樋門による対策を行うこととしておりまして、今年度末までに詳細設計を完了する見込みでございます。

○委員長（小池正昭君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。続けて伺いたいと思うんですが、今後の見通し

についても御答弁いただければありがたいと思います。

○委員長（小池正昭君） 木村河川整備課長。

○説明者（木村河川整備課長） 堤防のかさ上げ工事につきましては、残りが700メートルございまして、平成27年度の完成を目指してまいります。それから、先ほど申しました流入する河川の合流部につきましては、現場付近においては漁業を営む方がおられます関係から、工事による漁への影響がないよう調整を図りながら、早期に工事着手するよう努めてまいります。

○委員長（小池正昭君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。4年前の震災では、押し寄せてきた津波が新川を遡上して、河口部の周辺では先ほど申し上げましたように浸水被害が発生しました。近隣の方々は、遡上という経験したことのないような体験をきのうのように覚えておられて、津波対策の一刻も早い完成を切望しているところであります。県民が安全で安心して暮らせる千葉県、県土づくりのために、早期の工事完成を目指してしっかりと取り組んでいただきたいというふうに要望をして、終わります。